

言者からビザンチン皇帝への手 (下) : 部下をイスラ ムへ招こうとす

5.0

明:

ムハンマドを 言者と め、配下の者たちをイスラ ムに招こうとするヘラクレイオスとその反 。手 が家宝として残されたという についての 。

目:[事イスラ ムの真 性を示す数々の ムハンマドの 言者性に する](#)

目:[事 言者ムハンマド彼の 言者性の](#)

より: Jeremy Boulter (2012 IslamReligion.com)

日 23 Apr 2012

集日 23 Apr 2012

手 の公共 示



ヘラクレイオスがムハンマドを 言者と めたあと、彼はこう言いました。

私は神の 言者が れることを知っていたが、それがあなたがたの から出てくるとは思っ
ていなかった。もしあなたが言ったことが事 なら、彼は私の足下にあるこの土地まで

者に帝国から 物を送るように言いましたが、これも拒 されました。また彼は、ムスリムたちと平和条 を ぶことを めましたが、これも拒否されました。そしてシリアからビザンチンに った は、アンティオキアの南部と 部の帝国支配に一切 味をなくしてしまいました。 人的にムスリムの土地を うことを禁じ、中 の守り役として 能な大佐たちを送ったのです。 かなことは、彼が手 と 言者の 言に真 に向かい合い、それから背き去る前は、彼らの民もそこに こうと最善を尽くしたということです。

家宝

史家アッ=スハイリ は、ヘラクレイオスに宛てられた手 に わるさらに2つの逸 を えており、イブン ハジャルが解 とともにその を残しています。解 によるとアッ=スハイリ は、持ち主の位の高さを表すダイヤモンドで られたケ スの中にある手 のことを き、それは彼の 代まで家宝として大事に残され、フランジャ王の手元にまで届いたということでした⁶。彼の子 たちはトレドを征服したときに彼の手に渡ったと思い んでお⁷り、イスラ ム の指 者アブドゥル=マリク ブン サアドが12世 に子⁸の一人を通してそのことを知ったのです。アブドゥル=マリクの同士 は、彼がフランジャ王⁹と会い、王が彼に手 を せたと えています。彼はその 物を て、それがとても古いものだと 付き、その な骨董物に口づけをさせてもらえるように みましたが、王から断られたのでした。

アッ=スハイリ はまた、2つ以上の情 源からこう いたと えています。裁判官であるヌ ルッディ ン ブン サ イグ アッ=ディマシュキ はサイフッディ ン フリ フ アル=マンス リ が、アル=マンス リ カラウ¹⁰王からの 物とともにモロッコに使わされたと言いました。モロッコ王¹¹はフランジャ王に 物を送り¹²、ある秘密の い事をしてそれが受け入れられました。フランジャ王はその使いを彼の王国にしばらく滞在させようとしたが、その使いはそれを断りました。しかし、使いのサイフッディ ンが去るときに、王は彼に、ムスリムの彼が 味を示すであろう 重品を たいかと ねました。王は各々の仕切りの中が宝で埋め尽くされている箱を持ち出

しました。

彼が取り出した箱から、彼はダイヤモンドで覆われた 箱 (箱のようなもの) を取り出しました。彼はそれを 開け、中から 物を取り出しました。物の 状態は 壊れており、中身は少ししかすれていましたが、保存する ために 使われた の布に挟まれ、ほとんどの部分はきちんと保存されていました。フランジャ王はこう言いました。「この手 は、私の祖先であるカエサルがあなたの 言者から受け取り、私の代まで家宝として受け 取られたものです。カエサルは子 孫たちに、もし帝国の存 続を望むなら、この家宝を大事にとっておくように 勧めました。この手 に敬意を 払い、大事に しておけば私たちは守られているのです。帝国はこうして受け 取られてきたのですから。」[13](#)

ローマ帝国のカエサルだったヘラクレイオスの王国が彼に本当に受け 取られたかどうかは、東方でビザンチン帝国がまだ存 続し、そのあと150年も 経たないという点で疑 念は残りますが、ヘラクレイオスは前述のようにローマに手 紙を送り、それが保管され、カル大帝が800年、法王レオ3世に王と任命されたとき、帝国の西ゴ ト族に手 紙が渡った可能性はあります。

手 紙が何世 にも渡って保存され 続けたとは、断定して言い切れませ

ヘラクレイオスが、その背景や 状況、彼の民に 対する努力、彼の性格、功 績、そして教えをもとに 言者ムハンマドの主 張が正しいとすることを 信じるようとしたため、多くの人が彼が密 かにイスラ ムを受け入れたと考えます。アブ スフヤ ンへの返答と、彼がホムスの高官をイスラ ムに招いたということから、言者ムハンマドが本物であるということは 信じたようです。彼の心は 言者ムハンマドの手 紙の中で示された唯一神の教えに 従い、彼の支配下にある民を 導いた道へ 行く罪を避けようとしていました。しかし彼の部下は 断固拒否し、彼はその 力に 乏しく、民の反感を怖れて信仰に入ることは出来ませんでした。つまり、言者ムハンマドが 言者だと知り、彼の半生を 言者を守るために やしたにも 関わらず、彼の仲 人に 対する羞 恥心のためにイスラ ムに 依りなかつた 言者の伯父アブ タ リブと同じように、ヘラクレイオスもイスラ ムと神の 言者の不信仰者として亡くなったのです。

Footnotes:

1 言者ムハンマド（彼の上に神の祝福と慈悲あれ）のこと。

2 イブン アッバ のこと。

3 彼が 物の手 を 定のために送ったということも考えられますが、そのことは明 には えられていません。

4 史上では、ネストリウス派によって 墓教会から われた なる十字架~~630~~30年3月に彼が取り したことが されていますが、それは彼がアブスフヤンと会った数ヶ月 の でした。その もなくホムスから出 したのでしょう。

5 イブン ハジャル アル=アスカラ著「ファトフ アル=バ リ」。

6 フランジャとはイベリア半島の海岸沿いの王国を意味するスペインです。この物 のフランジャの王 とはオ ストリア、ア、レオン、（レオンから派生した）カスティリヤのジミネズとブルゴ ニュ地 からの王です。レオンは910年にアストリアが3つに れたときに 生しました。

7 アルフォンソ6世（1085年）。

8 ブルゴ ニュ国のレオンの王 。

9 名前は げられていませんが、おそらくは「皇帝」アルフォンソ世かカスティリヤとレオンのフェルデナンド2世でしょう。

10 おそらく、マムル ク朝のエジプト王（ 治 期1278~~27~~290年）。

11 おそらくマリ ン朝のアブ ユ スフ ヤク ブ（ 治 期1362年）。

12

おそらくカスティリヤとレオンの王アルフォンソ10世（1252年1284年）彼には「レックス
ロマノルム」（ロマノの王）という称号が与えられ、カト大帝の子だと家族が主したため、王として
ばれました。

13

アルフォンソ7世。彼の父は、レオンとアストリアの王は 的に西ゴト ロマ皇帝の子とされており、イベリア帝国
として知られていたので「皇帝」として知られていました。

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/403>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。